

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS タイプの違う **3つのイベント** に出展し、**新たなアプローチへ!**

**平間SDGsフェスでブース出展**

1月25日(土) 川崎市立平間小学校



小学校イベントの枠を超え、地域、PTA、企業が参加した一体感のある新しいフェスで大変にぎわいました。当センターは川崎の昔、今、未来から「SDGs11住み続けられるまちづくり」へつながるようアプローチしてみました。

**かながわSDGsパートナー  
アクションミーティングでブース出展**

2月6日(木) パシフィコ横浜会議センター

かながわSDGsパートナー\*19者によるブース出展及び取組み等のプレゼンテーションに参加しました。約350名の来場者で活発な情報交換が行われました。当センターのブースに黒岩神奈川県知事も立ち寄られました。



※神奈川県内でSDGs推進に資する事業を展開している協力企業・団体137者(2019年10月3日現在)

認定特定非営利活動法人アクト川崎は、川崎市より川崎市地球温暖化防止活動推進センターの第4期目(2020年4月~2023年3月)の運営をする団体として指定されました。アクト川崎が指定を受けて10年目、これからも引き続きご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

**SDGs体感エリア  
川崎ピースフォーアースでポスター展示**

3月2日(月)~8日(日) JR川崎駅東口公開広場



新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からイベント等の開催自粛が続く中、規模縮小でSDGs啓発ポスター展が行われました。当センターも出展し、若い世代から反響がありました。

**こどもエネルギーワークショップに  
エコちゃんずクラブ初参加**

2月8日(土) 川崎市立大戸小学校で開催



エコちゃんずクラブの子どもたちは毎月、自然教室やエコ教室に参加していますが、大勢の前で発表するのは初めての経験。自分の考えをしっかりと伝えるために、聞いている人に関心と興味を持ってもらえるよう工夫しました。発表では最初緊張しましたが、子どもたちは会場からの質問にも丁寧に答えることができ、やり遂げたという充実感でいっぱいです。  
(川崎市地球温暖化防止活動推進員・エコちゃんずクラブスタッフ 小原常男)

**2020年小学生  
春休みエコ体験教室 中止**

3月28日(土)・29日(日)に予定していた小学生向けの春休みエコ体験教室(全6講座)は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、やむなく中止といたしました。多くの申込みをいただきながら、大変残念な判断となりましたが、今後も参加者の安全を第一に、状況を踏まえながらイベント開催の可否を検討していきたいと思っております。

発行：川崎市地球温暖化防止活動推進センター  
〒213-0001 川崎市高津区溝口1-4-1  
ノクティ2 11F 高津市民館内  
電話：044-813-1313 FAX：044-330-0319  
メール：office@kwcca.com  
URL：http://www.cckawasaki.jp/kwcca/

編集後記

日本も含め世界で猛威を振るう新型コロナウイルスの影響で、各方面で様々な影響が出ています。当センターでもイベントの中止等の対応を余儀なくされておりますが、このような状況に負けずに新年度も頑張っていきたいと思っております。

※川崎市地球温暖化防止活動推進センターは、川崎市から指定を受けた認定特定非営利活動法人アクト川崎が運営しています。

【開室日】水曜日~日曜日 午前10時~午後5時

【閉室日】月曜日、火曜日、年末・年始、高津市民館閉館日

川崎市地球温暖化防止活動推進センターだより



**エコちゃんず通信 No. 41**

2020. 3.31 発行

エコちゃんず通信は、CCかわさき交流コーナーにある川崎市地球温暖化防止活動推進センターのニュースレターで年4回発行します

2020年  
1・2月の展示

**COOL CHOICEアート & プラスチックを減らすために**



川崎市立高津高校書道部の書道パフォーマンスの作品、川崎市立中学7校の美術部のみなさんがキットパスを使って描いたCOOL CHOICEアートの展示(2・3面をご覧ください)に加えてマイクロプラスチックに関するパネル展示をしました。若い人たちの力によって描かれたCOOL CHOICEアートを楽しく鑑賞していく姿が多く見られました。また、マイクロプラスチックの原因になるプラスチックの使用を減らすための行動をシールで投票するボードにもたくさんの人が参加されました。



1月  
講座



**~気候危機の時代に生きる~  
若者との対話**



「高校生・大学生とディスカッション/気候変動時代に生きる・私たちは地球温暖化とどのように向き合うか?」を、1月11日(土)に高津市民館で開催しました。

登壇者は、若者3名(梶原さん/大学1年、酒井さん/高校3年、岩野さん/高校1年)と川崎市地球温暖化防止活動推進員の徳野さん、モデレーターは中山さんでした。

酒井さんは「未来のための金曜日」の活動をはじめた思いは「こんな未来に僕たちは住みたくない」であること、岩野さんは「『気候変動は人災』だと伝えるために活動している」と話されました。

若者の行動が、日本と世界の社会の仕組みが変わるきっかけとなるように、全世代が連携して取り組みを開始することを確認しました。

2月  
講座

**海の環境問題  
気候変動とプラスチック汚染**



2月8日(土)高津市民館第5会議室でプロダクターの武本匡弘氏を講師に「海の環境問題 気候変動とプラスチック汚染」について講演会を開催しました。気候変動による海洋の生態系の悪化、マイクロプラスチックの現状について豊富なスライドと実体験にもとづく貴重なお話から学びました。武本さんの講演に続いて、推進員の三枝さんがプラスチックフリーのエコストア「パパラギ」について報告しました。若い世代を含め、定員を超える申し込みがあり、気候変動、海洋プラスチック問題への関心の高さを実感しました。





## WARM SHARE 書道パフォーマンス

ウォームシェア“今年 天気にな〜れ”を1月6日(月)に小黒恵子童謡記念館で開催しました。イベント内容は「書初め大会&お汁粉を作って食べよう」です。このイベントは、川崎市立高津高校書道部の全面的な協力で実現することが出来ました。

ホールで行なった書道パフォーマンスは、ピアノに合わせて「気候危機」と大きな文字が書かれました。漢字のパワーと部員の書への思いが感じられ、観客からは大きな拍手が送られました。



cckawasaki.jp/kwccca/coolchoice/ でも紹介しています。

## COOL CHOICE セミナー

“気候の危機は止められるか？/気候変動リスクと私たちの未来”



2月3日(月)にKCCIホールで、COOL CHOICEセミナー“気候の危機は止められるか？/気候変動リスクと私たちの未来”を開催しました。(主催：川崎市、川崎市地球温暖化防止活動推進センター、共催：川崎商工会議所)

講師の国立環境研究所地球環境研究センター副センター長の江守正多氏は、以下の3点を中心に気候変動対策の必要性を話されました。

- IPCCの「1.5℃」特別報告は、このままのペースなら2040年前後に1.5℃に到達してしまうこと
- それを抑えるためには2050年前後にCO2排出量をゼロに削減することが必要であること
- 私たちの社会が「脱炭素化」するためには、イヤイヤ努力して達成できる目標ではなく、社会の「大転換(人々の世界観の変化を伴う転換)」が必要であること

川崎市からも「地球環境が危うい。脱炭素社会の取り組みを具体的に進める」との基本方向の説明がありました。



人類は「化石燃料文明」を今世紀中に卒業しようとしている

- ・ 少し前までは、化石燃料が枯渇する心配をしていた。
- ・ 最近、「たくさん余っているのに使うのをやめる」ことを目指し始めた(そうしないとパリ協定の目標を達成できない)。

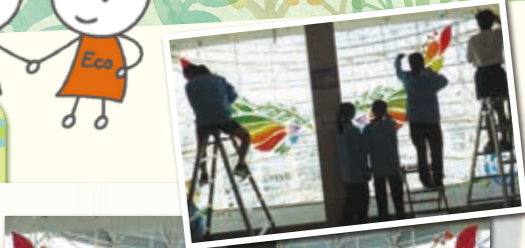
「石器時代が終わったのは、石が無くなったからではない」

Sheikh Ahmed Zaki Yamani (元サウジアラビア石油相)

## COOL CHOICE アート

川崎市立橋中学校美術部の皆さんにお願いして川崎市地球温暖化防止活動推進センターの展示コーナーのガラス面に環境をテーマに作品を制作していただきました。11月〜3月まで展示しました。

また、川崎市立中学校の美術部の皆さんに、大きなボード(600mm×1200mm)にキットパスを使って「地球温暖化」をテーマとした作品を制作していただき、第12回川崎国際環境技術展(カルッツかわさき)や第7回かわさき環境フォーラム(高津市民館)で展示を行いました。



『Rainbow Wings』  
翼や虹は未来への希望を表し、翼に植物を入れることでエコがずっと続いてほしいという願いを込めました。

### 参加した中学校

#### ▶川崎市立橋中学校 美術部 『その手の中に』



地球温暖化など人間が悪くしてしまった環境を自分達で何とかしていかなければならないという気持ちを両手で地球を包むように持つ構図で表現しました。そして、未来に向けてやらなければならない事、「自然と共に生きる」そんな思いを風刺画として描きました。

#### ▶川崎市立宮内中学校 美術部 土屋日与里 『COOL CHOICE ヒーロー』



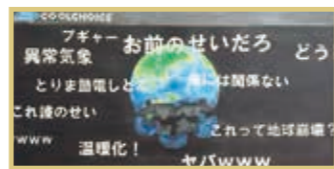
私は、このクールチョイスの作品をデザインするにあたって、いくつかの工夫をしました。一つは、ストーリー性を持たせることです。単に、省エネや環境保護を伝える作品ではなく、様々な場所で、クールチョイスをして地球を守っているヒーローがいるという設定にしました。それから、色の塗り方も工夫しました。先ず、白を地塗りし、その上に重ねて指で伸ばし、グラデーションを作りました。そうすることで、柔らかな印象になりました。キットパスの伸びる特性を生かし、丁寧に製作しました。

#### ▶川崎市立菅中学校 美術部 『だれがやったの』



美術部3年生の最後の共同制作として、役割分担をし、3年生全員で協力して製作しました。題名の「だれがやったの」は、地球をこんな風に犯した犯人はだれなのかということ、見た方に考えていただきたくて決めました。地球温暖化をテーマに南極を小さくしたり、街から溢れ出す汚れを表しました。

#### ▶川崎市立川中島中学校 美術部 『炎上』



地球が、壊れていく様子の動画がネットで流されている。温暖化などにより異常気象が起こり壊れていく地球についてコメントしている人もいるが、ほとんどの人がその様子を他人事としてみている。自分たちの手でどんどん汚染していることに気が付いているにもかかわらず、環境問題に目をつぶる人間に警鐘を鳴らす。

#### ▶川崎市立東橋中学校 美術部 『あなたの選択は?』



このような作品にした理由は、小学校の総合的な学習で、地球温暖化について調べて、世界中で今も起こっている温暖化問題を思い出し、それとは逆に「こうしたら無くなる」「この選択で少しは変わる」ということを調べて考えて作品を完成させました。

#### ▶川崎市立白鳥中学校 美術部 『地球・生物・命・心』



地球温暖化の問題は私たち中学生が引き継ぎ、考えていかななくてはけません。その基本の考えになるのは、地球や人間以外の生物にも、私たちと同じ命と心があるということを忘れないことです。人間が始めたことで危険にさらされているものを、少しでも変えていくことで、大きな命から小さな命までが繋がりに守られるというイメージを描きました。

#### ▶川崎市立高津中学校 美術部 『無題』



cckawasaki.jp/kwccca/coolchoice/ でも紹介しています。

